

特定非営利活動法人 中村元記念館東洋思想文化研究所



一山陰と世界を結び
地域に貢献する
現代の寺小屋一



R5 年 2 月にインド国より頂戴したガネーシャ

団体の活動、セールスポイント

●中村元博士と中村元記念館

中村元博士(1912～1999)は、島根県松江市殿町出身の哲学者です。インド哲学や仏教学の研究を中心に、論文・著作は 1,500 点にも及び、平成元年には「東洋思想研究の世界的権威」として松江名誉市民の称号を贈られました。

博士は、それまで主に漢文からの翻訳によって行われていた仏教研究を、よりブッダの時代に近い古代インドの記録にまでさかのぼって進め、歴史上の人物としてのブッダの実像を明らかにされました。また、後世に作られた宗教的な神話や伝説を取り除き、「人がどのように生きるべきか」を説いたブッダの言葉を、より多くの人に向けて、わかりやすい日本語に翻訳されました。

さらに、世界平和への願いから、異なる文化を理解することの重要性を説き、日本では前例のない新たな学問分野である「比較思想」を開拓されました。現在もなお、戦後日本を代表する学者の一人とされています。

中村元記念館は、博士の生誕百年を節目として 2012 年に開館いたしました。館内では、博士の 3 万冊を超える蔵書の一部をはじめ、手書きの原稿や愛用品などを展示・公開しています。博士の故郷である松江市民の皆様をはじめ、博士についてより深く知りたいと願う多くの皆様に向けて、学びの場を提供しております。



寄附を受けて取り組みたい事業 これまでに寄附を活用して実施した事業

●中村元博士の蔵書・資料の整理

中村元記念館には、博士のご遺族から寄贈された約 33,416 冊の蔵書の他にも、原稿や書簡、写真や手帳・日記などといった博士の膨大な資料や遺品を保存しています。より多くの方に博士の業績を知ってもらいたい、また、東洋思想文化の研究と普及、学術研究に寄与することを目的として、これらの資料や遺品の登録管理を進めています。

収蔵品管理システムを用いた登録作業では、資料の名前や保管場所を登録するだけでなく、博士独自の分類秩序や、資料の原配列を尊重した登録管理を行っております。整理された資料は、記念館企画展示や、書籍発行等で広く一般に公開しています。

●収蔵品展の開催



世界平和を願った慈しみの思想家 中村元博士の学生時代の作文・写真や出征、戦時中の苦労の中まとめた学位論文、戦後の平和に関する活動と思想研究について、戦後 80 年を迎えるにあたって所蔵資料で迎えました。

会期中はギャラリートークと展示に関連した中村元思想文化カフェも行い、2 度の大戦を経験した中村元博士が、戦時中どのように学問を続け、後の研究や世界平和への思いに至ったのか、当時の手紙や出征旗などをご覧いただきながら解説しました。

団体の目標

- ① 「東洋思想研究の世界的権威」として松江名誉市民を贈られた中村元博士を顕彰し、その業績を蔵書・愛用品などを通じ、多くの皆様に知っていただくことを目標としています。
- ② 松江市に寄贈された博士の蔵書約 34,000 冊を、散逸させることなく次の時代に伝えるため、時代に合わせ適切に管理します。
- ③ 歴史的人物としての博士の姿を知っていただくべく、博士の遺された直筆原稿、手記などから、博士ご自身の人・思想についての研究を進めます。
- ④ 戦後日本を代表する学者として博士が開拓された、インド哲学、仏教学、比較思想、歴史、文学などを中心として公開講座・講演会などを実施いたします。
- ⑤ 博士がご自身の研究に託された「世界平和」について学問を通じて考えていきます。



特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

理事長 清水谷 圭

〒690-1404

島根県松江市八束町波入 2060 番地

松江市八束支所 2F

TEL 0852-76-9593 FAX 0852-76-9693

info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp

<https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

団体から寄附者への PR

令和 6 年度に、中村元博士の蔵書に関する登録作業は一区切りを迎えました。これを受け、令和 7 年度からは、令和 7 年 3 月に松江市へ寄贈した中村博士の資料——原稿、書簡、写真、手帳、日記など——について、本格的な登録作業を開始しました。

資料の登録にあたっては、まず収蔵品登録システムにおけるルールの策定や登録項目の検討が必要となりました。これらの資料は蔵書とは異なり、形状や大きさ、種類も多岐にわたるため、作業は困難を極めています。登録作業では、資料名や保管場所の記録にとどまらず、博士独自の分類秩序や資料の原配列を尊重した管理を行っています。

また、博士が自ら資料に付した分類(MSS)については、タイトルをキーワード検索できるよう、タイトル一覧表の作成も進めています。

今後も一点一点着実に登録作業を進めるとともに、多くの皆様にご活用いただけるよう、展示や各種イベントを通じて博士の資料を公開していく予定です。これからも、博士が遺された貴重な資料を丁寧に調査し、知の継承に貢献できるよう尽力してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。